

【今更聞けない、、、新しい蛍光色素が使える？使えない？】

フローサイトメトリー実験に関する、今更聞けない質問にお答えする「今更聞けない、、、」ですが、今回は蛍光色素についてお話ししたいと思います。

多重染色が一般的になり、一度に染色できる色素数も増えてきた昨今、各会社から新しい色素が次々に紹介されています。

「明るい色素だといわれて試してみたら、あまり明るくなかった」「もう一色加えたいけどどの色素が使えるかわからない」という経験は誰にでもあるのではないのでしょうか？

蛍光色素の明るさは、抗体を提供する各社さんが、「Brightness Index」などのように目安の明るさを表示しています。しかしながら、それはその蛍光色素に最適なフィルターを使用して測定した際の明るさが表示されています。

Brightness Index

<https://www.biolegend.com/en-us/brightness-index>

フローサイトメーターは各検出器の光路手前にバンドパスフィルターがセットされており、特定の波長の光のみが検出される仕組みです。フィルターは機械ごとに異なっているため、バンドパスフィルターの違いによっては、明るいはずの色素があまり明るく検出できないこともあります。

バイオレジェンド社の提供する蛍光色素が各フローサイトメーターで使えるかどうかを下記のサイトより確認できます。

Instrument Guide - Fluorophore Selector

<https://www.biolegend.com/en-us/instrument-guide>



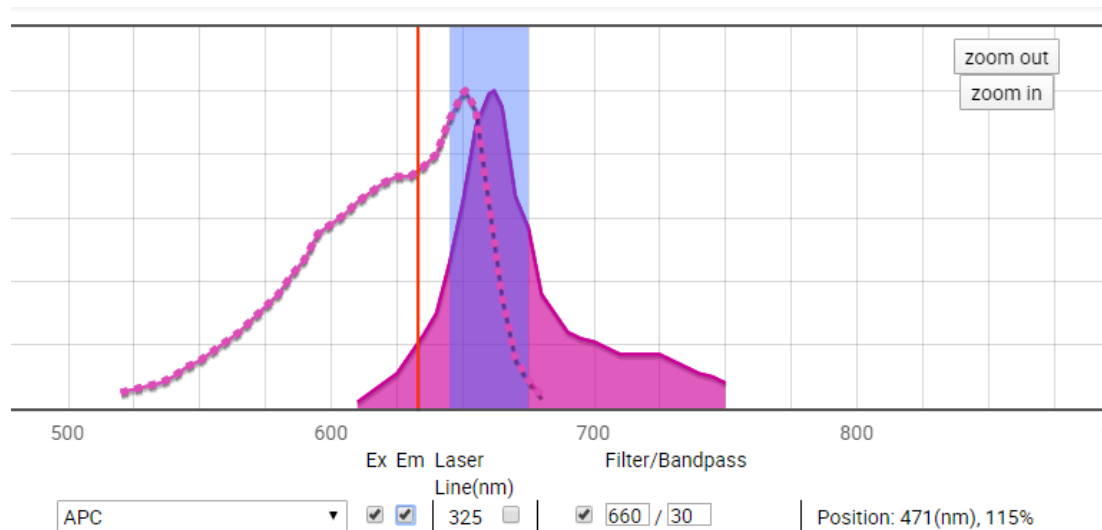
しかしながら、特注などもあるため、個別に違う可能性もあります。

ご自分の使用するフローサイトメーターのバンドパスフィルター情報については、ぜひ一度確認し、ラボ共通認識としてみんなで確認するようにしてください。

蛍光色素が自分の使用しているバンドパスフィルターとどのくらい適合性があるのかを確認したい場合には、下記ツールを使うとわかりやすいです。

Fluorescence Spectra Analyzer

<https://www.biolegend.com/en-us/spectra-analyzer>



■過去の記事はこちらからどうぞ

[第1回：今更聞けない、、、CD抗原とは????](#)

[第2回：今更聞けない、、、マルチカラーパネルとは????](#)

[第3回：今更聞けない、、、抗体のタイトレーションとは????](#)

[第4回：今更聞けない、、、何のマーカーを測定したらよいの????](#)

[第5回：今更聞けない、、、細胞内因子の測定とは????](#)

[第6回：今更聞けない、、、Viability Dye \(死細胞標識試薬\) の重要性](#)

[第7回：あなたを守る、SDS \(安全データシート\) を確認しよう!](#)

[第8回：今更聞けない、、、細胞固定によって影響を受ける表面抗原タンパク質](#)

[第9回：今更聞けない、、、RUOって何????](#)